



平成 28 年 1 月 6 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 柳澤哲二
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 取締役業務統括本部長 加藤 淳
(Tel 052-950-7500)

愛知県幸田町における「高精度 3 次元地図を利用した自動運転実証実験」の実施について

当社は、愛知県の企業・大学・自治体による産学官連携で、今後普及が期待される自動運転のインフラ技術である高精度 3 次元地図の作製並びに地域住民の自動運転車試乗による社会受容性実証実験を別紙の通り実施することをお知らせいたします。

以上

平成 28 年 1 月 6 日

愛知県幸田町における「高精度3次元地図を利用した自動運転実証実験」の実施について

アイサンテクノロジー株式会社（JASDAQ 証券コード：4667、本社：名古屋市中区、社長：柳澤哲二）は、愛知県の企業・大学・自治体による産学官連携で、今後普及が期待される自動運転のインフラ技術である高精度 3 次元地図の作製並びに地域住民の自動運転車試乗による社会受容性実証実験を実施します。

本実証実験では、アイサンテクノロジーが主体となり高精度 3 次元地図を作製し、名古屋大学発のベンチャー企業である株式会社ティアフォーが自動運転システムを提供します。尚実証実験の指導役として、国立大学法人名古屋大学 情報科学研究科 加藤真平准教授が主導します。また、実証実験には国内外の各企業も参画予定となっております。

1. 実証実験の目的と実施内容

昨今、自動運転の公道実験が徐々に広まってきておりますが、基本的にはコースを限定したものであり、主に技術検証を目的とした実証実験となっております。今回の実証実験では、アイサンテクノロジーの高精度 3 次元地図技術と名古屋大学、株式会社ティアフォーの自動運転技術を活用し、実用面でのコストや住民の意見収集といった、社会受容性実験までを実施します。

2. 愛知県幸田町を選定した理由

実証実験のフィールドには愛知県幸田町を選定しております。幸田町は、名古屋大学とも協定を締結しており、町をあげて地方創生に取り組んでおります。鉄道の新駅が設置され、国道等の交通機関の要衝でもあり、実証実験のフィールドとしての地理的環境が整備される中で、町域に過疎地域が点在し、民間の路線バスが廃止される等の課題も抱えていることから、自動運転という移動手段の将来のニーズも高いと想定し選定に至りました。

3. 実証実験のスケジュール

アイサンテクノロジーは、2016 年 1 月から幸田町の広域に対して現地計測を開始し、町全体の高精度 3 次元地図の作製を行います。その後名古屋大学が別途策定予定の自動運転公道試験走行ガイドラインに従って、2016 年 4 月を目途に自動運転の走行実験を開始する予定です。

4. その他

高精度 3 次元地図は、作製後の更新が課題とされており、地図の鮮度を保つ技術が必要になりますが、今回の実証実験では、自動運転車に搭載されたセンサで得られるデータをインターネット経由でデータセンターに送信し、リアルタイムに高精度 3 次元地図を更新する技術を導入し、そのコストや精度を検証します。また同時に自動運転車が検出した、他車及び歩行者の情報も送信し、同地図上に展開することで、高精度 3 次元地図を基盤とした動的情報の参照に関わる基盤構築も進めて参ります。

また、名古屋大学の自動運転車には車載コンピュータのほかに、モニター住民が操作できるスマートタブレットを設置します。スマートタブレットにはアイサンテクノロジーと名古屋大学らが共同開発した 3 次元ナビ

ゲーショシステム「3Dツインナビ」がインストールされており、モニター住民はタブレット上で幸田町内の行き先を入力するだけで、目的地までの走行レーン情報が車載コンピュータに送信され、自動運転が開始されます。交差点の右左折や信号での一旦停止、車線変更等、交通ルールを守りながら目的地までを自動運転します。また運転席には自動運転技術を理解した実験責任者が同乗し、緊急時に備えた万全の体制で、安全を確保します。

今後は、幸田町での本実証実験を皮切りに、愛知県の主要な市町村等、愛知県全域まで範囲を拡げ、他県を含めた日本全国レベルでの実証実験までの拡大を検討して参ります。

本件に関するお問い合わせ

■〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目7番14号ATビル

アイサンテクノロジー株式会社

TEL 052-950-7500 FAX 052-950-7507